

NY マーケットレポート (2016 年 10 月 17 日)

NY 市場では、序盤に発表された NY 連銀製造業景気指数が、プラス改善予想に反してマイナスが拡大する結果となり、3 ヶ月連続のマイナスとなったことを受けて、米景気の先行き不透明感からドルが大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、欧米の株価が軟調な動きとなったことや、原油価格が下落したことから円買いが優勢となり、クロス円も軟調な動きとなった。そして、米国債の利回りが低下したことで、日米金利差縮小が意識されたこともドル/円の上値を抑える要因となった。

2016年10月17日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.17	104.38	103.95
EUR/JPY	114.33	114.58	114.03
GBP/JPY	126.70	127.02	126.36
AUD/JPY	79.04	79.49	78.83
EUR/USD	1.0977	1.0995	1.0963

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.32	104.06
EUR/JPY	114.52	114.32
GBP/JPY	126.97	126.37
AUD/JPY	79.30	79.04
EUR/USD	1.1004	1.0972

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	103.90	104.14	103.80
EUR/JPY	114.27	114.52	114.17
GBP/JPY	126.52	126.79	126.28
AUD/JPY	79.22	79.34	79.13
NZD/JPY	74.12	74.29	74.00
EUR/USD	1.1000	1.1008	1.0989
AUD/USD	0.7626	0.7629	0.7610

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18086.40	-51.98
S&P500	2126.50	-6.48
NASDAQ	5199.82	-14.34
日経225 (CME)	16850	-25
トロント総合	14596.52	+11.53
ボルサ指数	47657.33	-44.12
ボベスパ指数	62696.11	+928.89

10/18 経済指標スケジュール

09:30 【オーストラリア】豪中銀 議事録
 09:30 【オーストラリア】9月新車販売台数
 11:00 【ニュージーランド】9月非居住者国債保有率
 17:30 【香港】9月失業率
 17:30 【英国】9月消費者物価指数
 17:30 【英国】9月生産者物価指数
 17:30 【英国】9月小売物価指数
 17:30 【英国】9月生産者出荷価格
 17:30 【英国】9月生産者仕入価格
 21:00 【ポーランド】9月雇用
 21:00 【ポーランド】9月平均総賃金
 21:30 【米国】9月消費者物価指数
 21:30 【米国】9月実質平均週賃金
 21:30 【カナダ】8月製造業出荷
 23:00 【米国】10月NAHB住宅市場指数
 05:00 【米国】8月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1256.60	+1.10
NY 原油	49.94	-0.41
CME コーン	354.00	-0.25
CBOT 大豆	978.25	+15.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.815%	0.839%
3年債	0.973%	1.003%
5年債	1.254%	1.287%
7年債	1.551%	1.592%
10年債	1.766%	1.798%
30年債	2.521%	2.558%

ドイツ10年債	0.055%	0.058%
英国 10年債	1.123%	1.097%

10/18 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月ニューヨーク連銀製造業景気指数 -6.80 (予想 1.00・前回 -1.99)



出所 : Bloomberg

◀ NY 連銀製造業景気指数 ▶

現状)

	10 月	9 月	8 月	7 月	6 月	5 月
業況	-6.80	-1.99	-4.21	0.55	6.01	-9.02
仕入価格	22.60	16.96	15.46	18.68	18.37	16.67
販売価格	4.70	1.79	2.06	1.10	-1.02	-3.13
新規受注	-5.60	-7.45	1.04	-1.82	10.90	-5.54
出荷	-0.60	-9.38	9.01	0.70	9.32	-1.94
在庫	-12.30	-12.50	-4.12	-8.79	-15.31	-7.23
雇用者数	-4.70	-14.29	-1.03	-4.40	0.00	2.08

6 ヶ月先の見通し)

	10 月	9 月	8 月	7 月	6 月	5 月
業況	36.00	34.53	23.74	29.24	34.84	28.48
仕入価格	35.80	41.07	25.77	26.37	29.59	28.13
販売価格	30.20	20.54	9.28	7.69	7.14	6.25
新規受注	39.00	31.89	27.37	29.05	38.24	22.43
出荷	36.50	21.19	27.95	29.84	29.13	24.37
在庫	-0.90	-0.89	5.15	-3.30	3.06	0.00
雇用者数	9.40	7.14	-6.19	1.10	-2.04	10.42

※同指標はゼロが景況の分岐を示す

10 月 NY 連銀製造業景気指数は、プラス改善予想に反して-6.80 となり、3 ヶ月連続のマイナスとなった。ただ、6 ヶ月先予想では、景況指数が 36.0 (前回 34.5) と 2 ヶ月連続の上昇となった。関連指数では、仕入価格が 22.6 (前回 17.0)、販売価格が 4.7 (1.8)、新規受注が-5.6 (-7.5)、出荷が-0.6 (-9.4)、雇用者数が-4.7 (-14.3) と改善したが、入荷遅滞は-11.3 (-6.3)、在庫水準は-12.3 (-12.5)、受注残は-10.4 (-11.6)、週平均就業時間は-10.4 (-11.6) など、悪化や引き続きマイナス幅が大きいことが影響した。

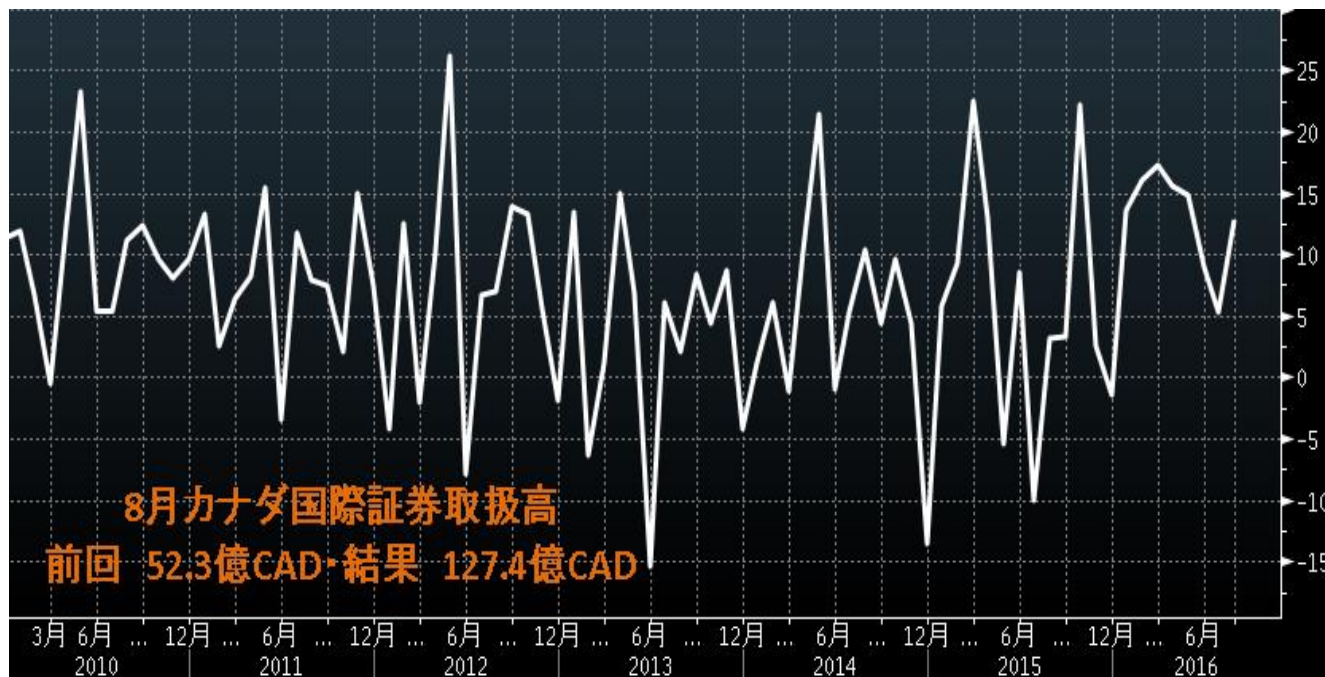


21 : 30

《 經濟指標の結果 》

8月カナダ国際証券取扱高 127.4 億 CAD (前回 91.0 億 CAD)

前回発表の 52.3 億 CAD から 91.0 億 CAD に修正



出所：Bloomberg

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米鉱工業生産（前月比） 0.1%（予想 0.2%・前回 -0.5%）
 前回発表の-0.4%から-0.5%に修正

9月米設備稼働率 75.4%（予想 75.6%・前回 75.3%）
 前回発表の 75.5%から 75.3%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
鉱工業生産	0.1	-0.5	0.5	0.5	-0.2	0.5
製造業	0.2	-0.5	0.4	0.2	-0.2	0.1
鉱業	0.4	-1.0	1.1	0.1	0.8	-3.2
最終財	0.1	-0.2	0.3	0.6	-0.3	1.1
原材料	-0.2	-0.6	-0.6	0.7	0.0	-0.2
設備稼働率	75.4	75.3	75.8	75.4	75.1	75.2
製造業	74.9	74.8	75.2	75.0	74.8	75.1
鉱業	75.5	75.0	75.5	74.4	74.0	73.2

9月の米鉱工業生産指数は、前月比+0.1%と2ヵ月ぶりのプラスとなった。ただ、7、8月の指数はいずれも下方修正された。生産指数は製造業が+0.2%と2ヵ月ぶりのプラスとなり、自動車・同部品が+0.1%、一般機械は-0.6%、電力・ガスは-1.0%と2ヵ月連続マイナスだった。9月の設備稼働率は、前月比0.1ポイント上昇の75.4%と2ヵ月ぶりの上昇となった。

《ポイント》

ニューヨーク連銀製造業景況指数が市場の予想に反して悪化し、米景気の先行き不透明感が出たことを背景に、リスク回避の動きが強まった。米債利回りの低下に加えて、原油価格の下落も加わり、円買いが優勢となった。



《欧州株式市場》

欧州株式市場は、世界経済の先行き警戒感や原油価格の下落を背景に、投資家心理が圧迫され、主要株価は反落となった。また、20日のECB理事会を前に買いを手控えるムードも強かった。

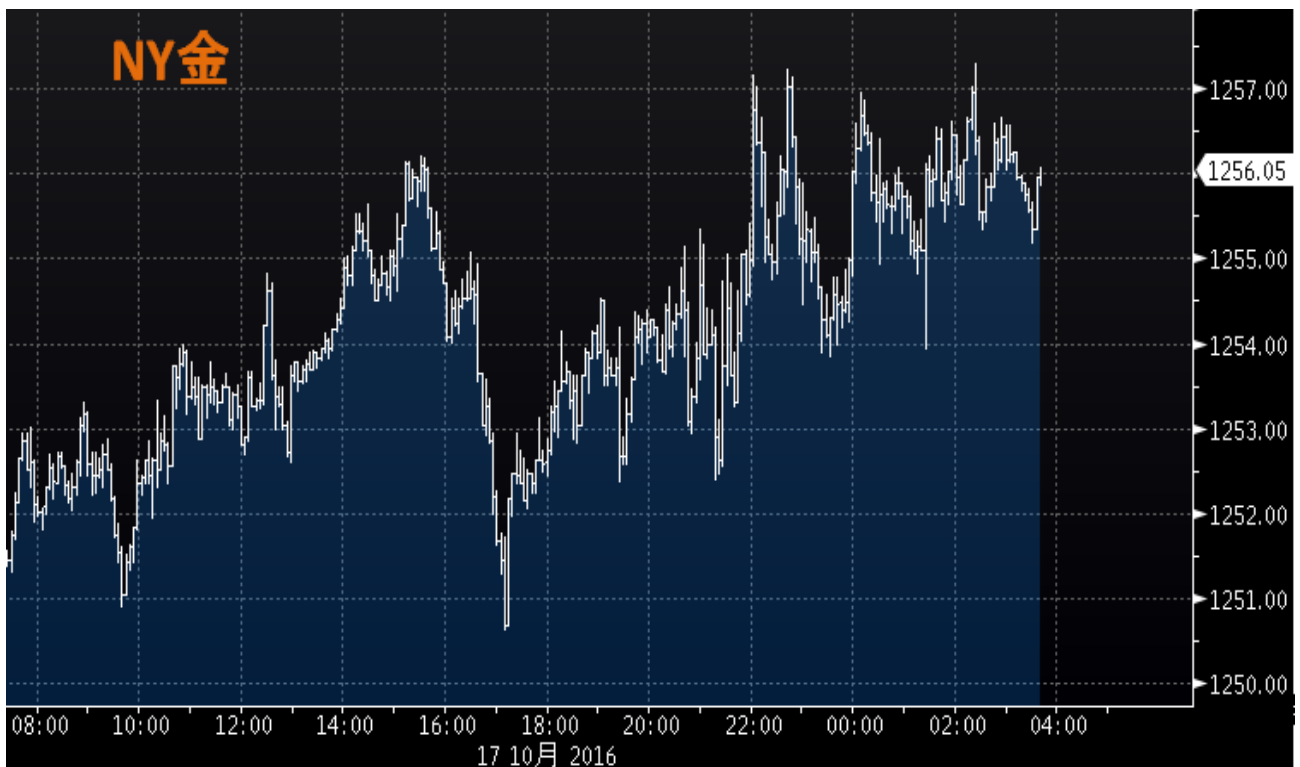


出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 1.10 ドル高の 1 オンス=1256.60 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買われた。ただ、年内の米追加利上げへの警戒感も根強く、上値は限定的となった。

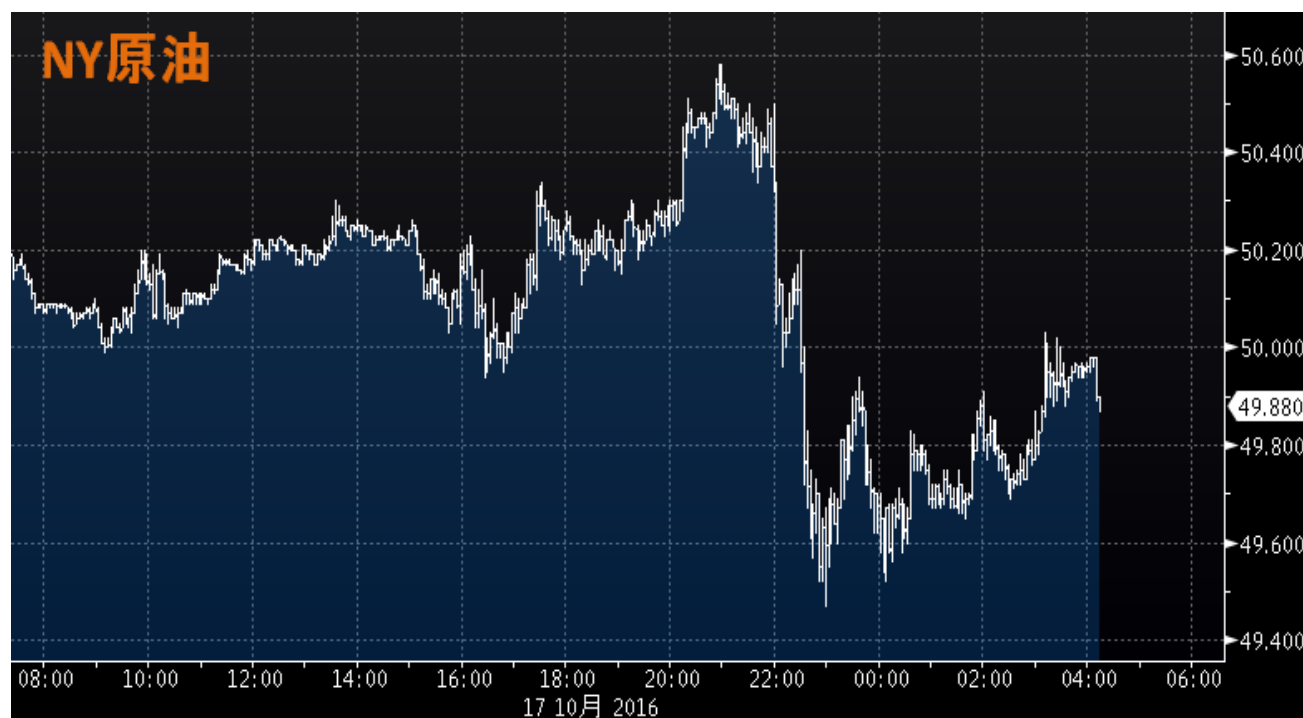


出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.41 ドル安の 1 バレル=49.94 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の減産実現に対する懐疑的な見方から需給改善への期待が後退し、売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

<< 米株式市場 >>

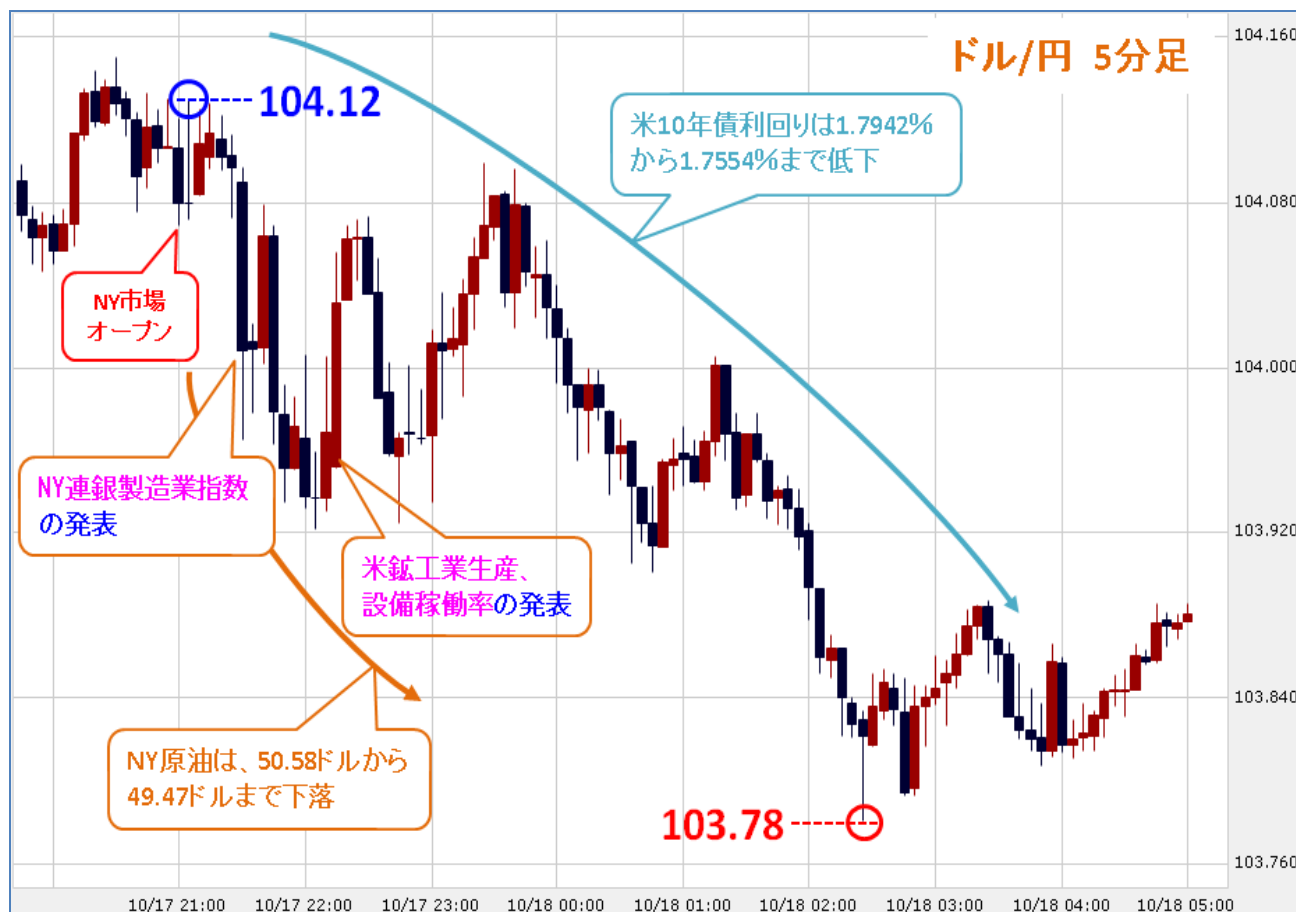
米株式市場は、欧州主要株価が軟調な動きとなったことに加えて、原油価格の下落を受けてエネルギー関連株が売られたことも影響し、主要株価は序盤から軟調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、一時前週末比 75 ドル安まで下落した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米製造業関連の経済指標が予想外の悪化となったことや、欧米の株価や原油価格が下落したことが影響し、ドル円・クロス円は、序盤から軟調な動きとなった。ただ、全体的に下げ幅は限定的となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。